

# 朋友會宣言

大歐戰亂の終息は世界各國を擧げて殆んど同一な反響を興へてゐる、即ち經濟界に思想界に、その大なる衝動に依り現に英、米、佛、伊、獨各國に於て頻りに宣傳されてゐるデモクラシー運動の如き其の洋々たる勢ひは時を重ぬ目を経るに連れ強大の度を加へ今や純然たる世界思潮の如き觀を示すに到れり、即ち此の思潮はやがて我が労働界にも波動し來たり從來の資本專制に對する「労働者の解放」等の標語は今や一般民衆の叫ぶところとなり時に於て見る同盟罷業の如く怠業の如くいづれも此の運動の高潮を語るものにして斯くして民衆の力は目を逐ひ時を重ぬるに従ひ勢權を加へつゝあることは何人も否定し得ない事實である。即ち労働の高能時代は膨湃たる勢ひを以つて吾人の眼前に展開され來つた。併し乍ら、吾人は之を歡呼讚美するに先だち、先づ冷靜に一步しりぞいて吾人の脚下を考察しなければならぬ。即ち我が國體と國民の性情とを深く考察して見ることである。今や我が國の労働運動は其の聲ばかり大にして其の大体の方針の那邊に存するかを捕捉し難き現狀にあり、其の形式と外形とは單に歐米のそれを其儘模倣したるに過ぎない、謂んや斯の如き社會政策の問題として乃至施設として動ともすれば流血の慘を敢てしてまでも事を成さんとす歐米流を其儘移植なし以つて我が二千年來の傳導的國民性に當倣めやうとなすは最も無謀の甚だしきものと謂はなければならぬ、否な斯の如き變能が永遠に我が國體と國民性の上に存立しやう道理は勿論ないのである、然らば吾々は現下の我が労働運動を最も自然に導かうとしたなれば云ふまでもなく我が國體と國民性とに立脚した即ち國家中心主義の許に有ゆる労働運動の成果を期せねばならぬ、然り而して始めて我が労働運動は完全に達成する可きものである。此の觀念は單に労働者のみならず、資本家と共に自覺なさざる可からざる事、論を俟たない、從來の如き偏重偏輕の迷歩を固守なす可き時代にあらざることを勿論にして資本家が物質の提供者なれば即ち労働者は勞力の提供者たることの理解と自覺は相互に於てあらねばならぬ。世の労働本位の議論が其の論旨に於て甚だ薄弱なるの缺陷を免れぬに相一致して資本主義一點張りの議論の如何に盲論なるかは蓋し自明のことなるは謂ふを要せないのである。此の種自覺は即ち現今の労働運動をして健全ならしむる唯一の道程にして延いて目下の労働問題を解決するの要諦たることを論ずるまでもない、併し爰に於てか吾人は單に物質のみの慾求を追ひ、いやしくも人生の目的たる即ち肉面的、本質的、精神的、向上の大成を期す可き大任務を忘る可からず、然らずんば如何に努力するも吾々の運動は畢竟するに徒勞なるざるを得ないのである。吾等は單なる民衆を以て努力と物質の増大のみを以て満足とするものでない、其の質的方面を

100 軒 777  
1500  
30 軒  
100 軒 777  
1500  
30 軒  
100 軒 777  
1500  
30 軒

丁  
号